

YAHOO!
JAPAN

ヤフー株式会社

2018年度第1四半期 決算説明会

2018年7月27日

目次

P. 4 2018年度 第1四半期 連結業績

P. 12 メディア事業

P. 24 コマース事業

P. 41 企業価値向上を目指して

P. 48 補足資料

本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。会社の業績に影響を与える事項の詳細な記載は「2019年3月期 第1四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

2018年度 第1四半期 連結業績

2018年度 第1四半期 トピックス

1

検索連動型広告売上収益が
前年同四半期比で二桁成長を達成

2

モバイルペイメント事業の拡大に向けて
ソフトバンク(株)とJVを設立

3

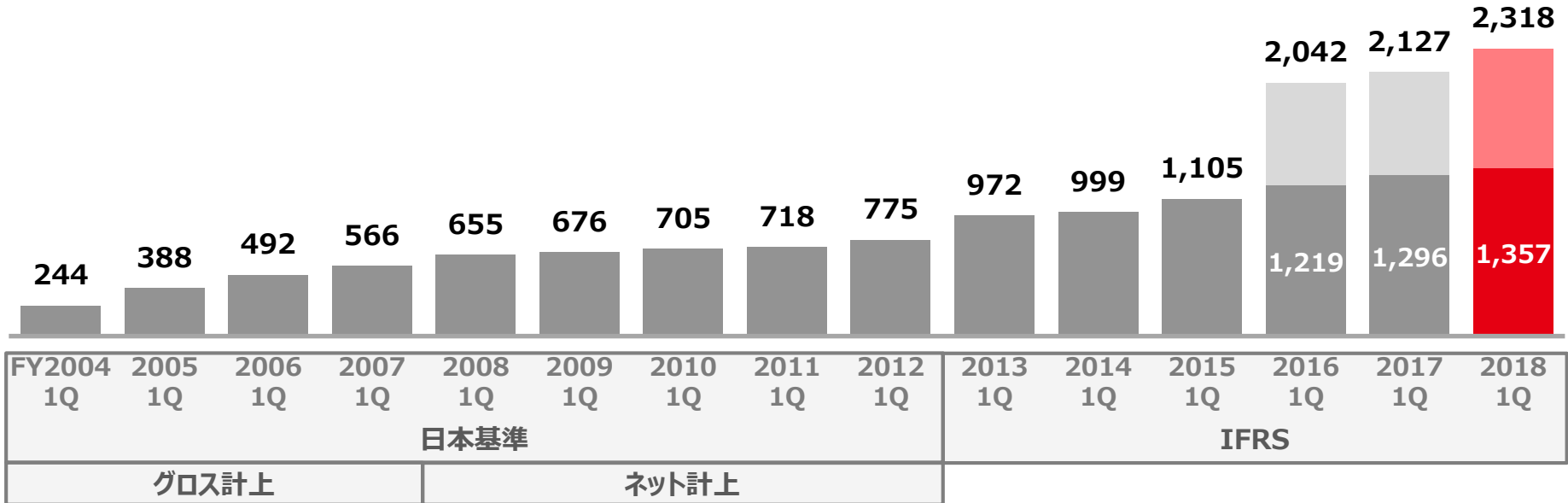
企業価値の向上に向け
資本提携および自社株買いを実施

売上収益

(億円)

- アスクルグループの売上収益
- アスクルグループを除いた売上収益

2,318億円
前年同四半期比 9.0%増



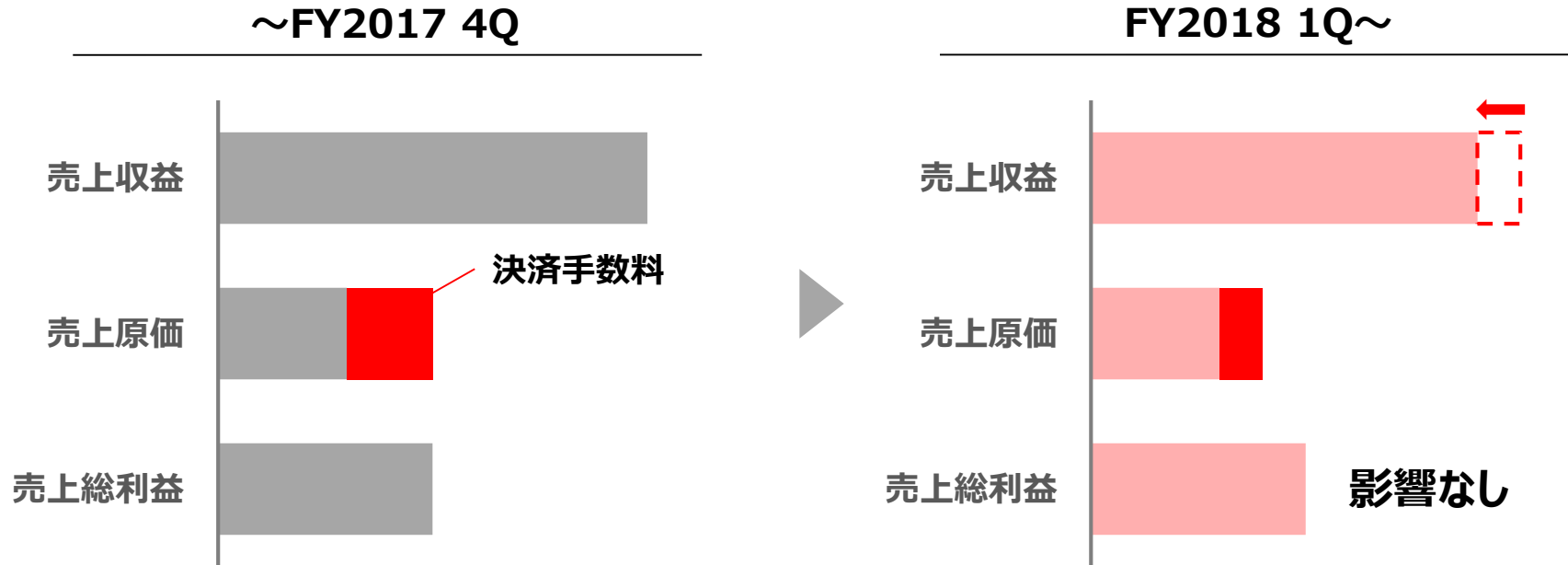
注: 2008年度から2012年度まで、売上原価および販管費の一部の科目を差し引いた売上収益のネット表示を行っています。

6 アスクルグループには、アスクル(株)に加え、(株)アルファパーチェス、(株)チャームなどが含まれます。

アスクルグループの売上収益は、弊社決算期間で集計しており、かつアスクルグループ内の連結消去を考慮したものです。

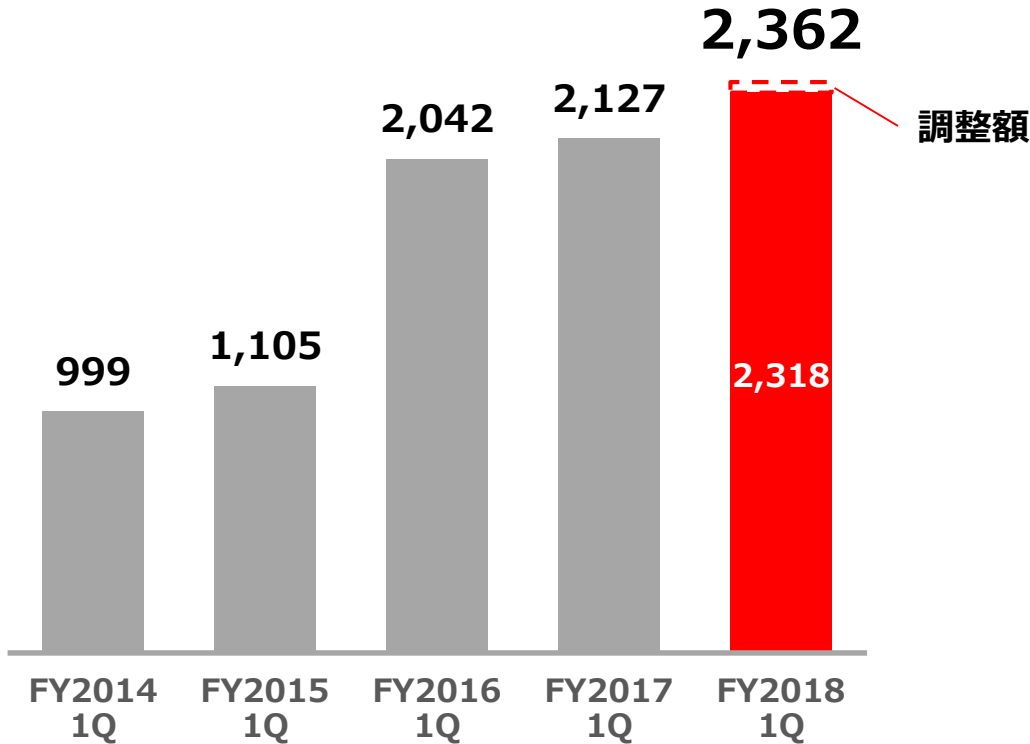
決済手数料の計上方針を変更

収益認識に関する会計方針の変更に伴い、
FY18から決済手数料の一部を売上収益から控除する処理に変更



計上方針の影響を除いた場合の売上収益

(億円)



前年同四半期比

11%増

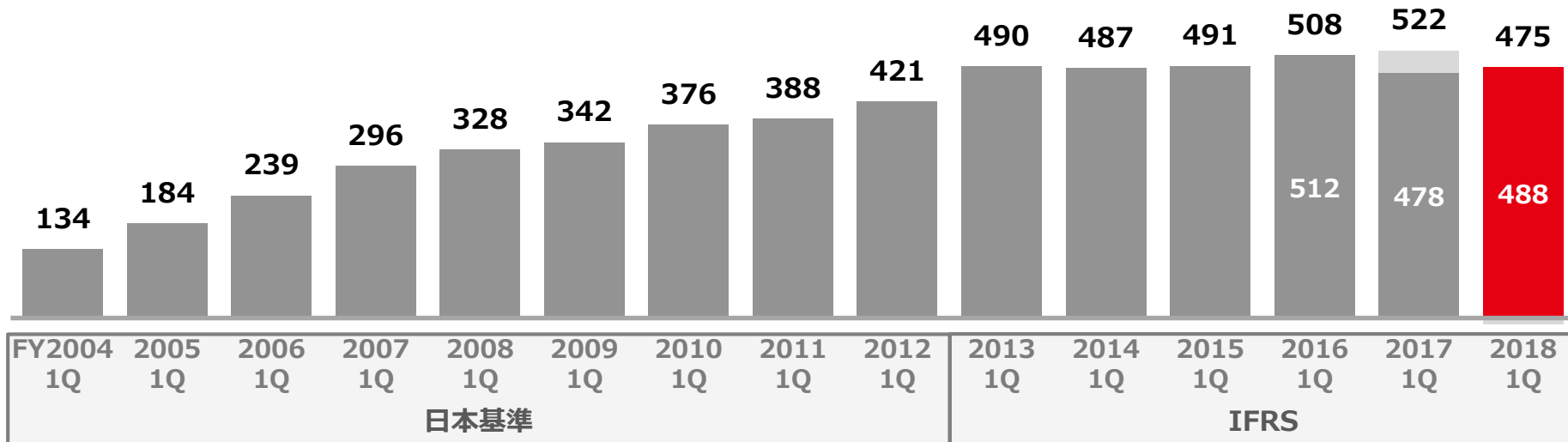
営業利益

(億円)

- アスクルグループの営業利益
- アスクルグループを除いた営業利益

475億円

前年同四半期比 8.9%減



注: 企業結合日時点に認識された識別無形資産の償却費を含んでいます。

9 アスクルグループには、アスクル(株)に加え、(株)アルファバーチェス、(株)チャームなどが含まれます。

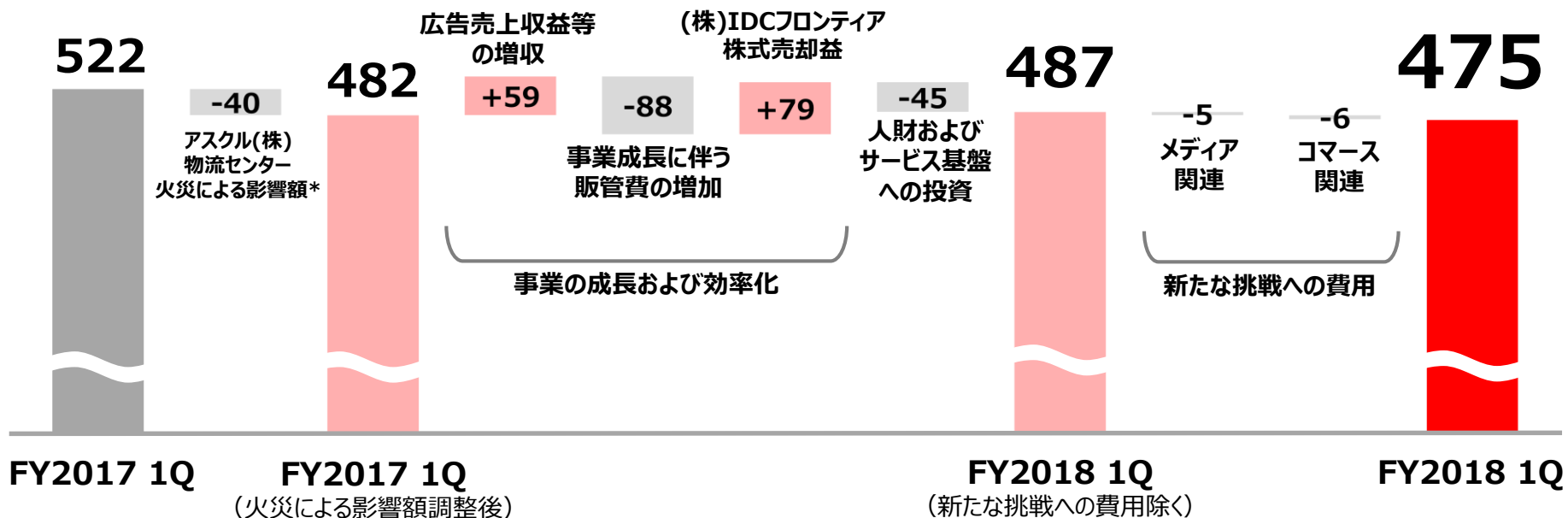
2017年度には、アスクル(株)の物流センター火災による保険金の受取額49億円を含んでいます。

2018年度には、(株)IDCフロンティアの株式売却益79億円を含んでいます。

営業利益の増減要因

新たな挑戦への費用は下期にかけて増加する見込みのため、
通期営業利益ガイダンスに変更なし

(億円)



10 *アスクル(株)の物流センター火災による保険金の受取額49億円、アスクル(株)の物流センター火災による一時的費用9億円の合計です。

セグメント別業績

(億円)		FY2017 1Q	FY2018 1Q	前年同四半期比	
				実績	主な増減要因
メディア 事業	売上 収益	681	721	+6.0%	検索連動型広告売上収益の増加
	営業 利益	358	367	+2.5%	
コマース 事業*	売上 収益	1,407 アスクルG 830	1,584 961	+12.5% +15.7%	ショッピング広告売上収益の増加
	営業 利益	261 アスクルG 43	154 -12	-41.1% -129.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・物流センター火災による保険金受取額の剥落 ・アスクルGの一時的な戦略費用(決算賞与含む)投下 ・ポイント費用等の販売促進費の増加
その他 事業	売上 収益	59	31	-46.6%	(株)IDCフロンティア株式売却の影響
	営業 利益	10	89	+729.4%	(株)IDCフロンティア株式売却益の計上

注: 調整額を表示していません。過去の業績および比較は現在のセグメントに合わせて遡及修正しています。

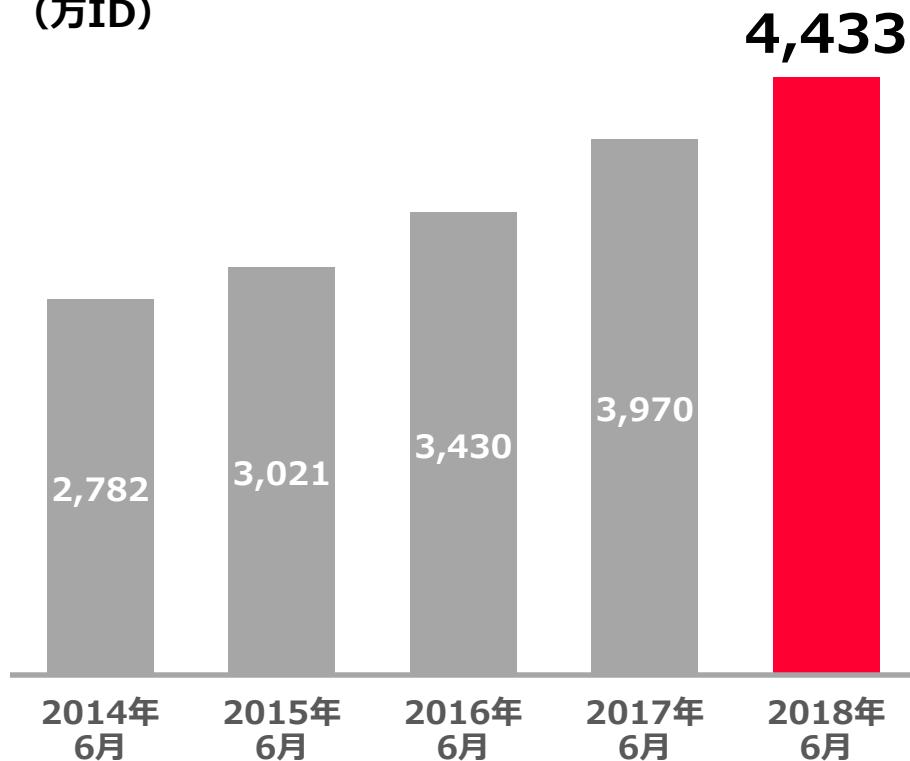
11 * コマース事業の下段の数値は、弊社決算期間における連結後のアスクルグループの売上収益および営業利益です。

アスクルグループには、アスクル(株)に加え、(株)アルファパーチェス、(株)チャームなどが含まれます。

メディア事業

月間ログインユーザーID数

(万ID)



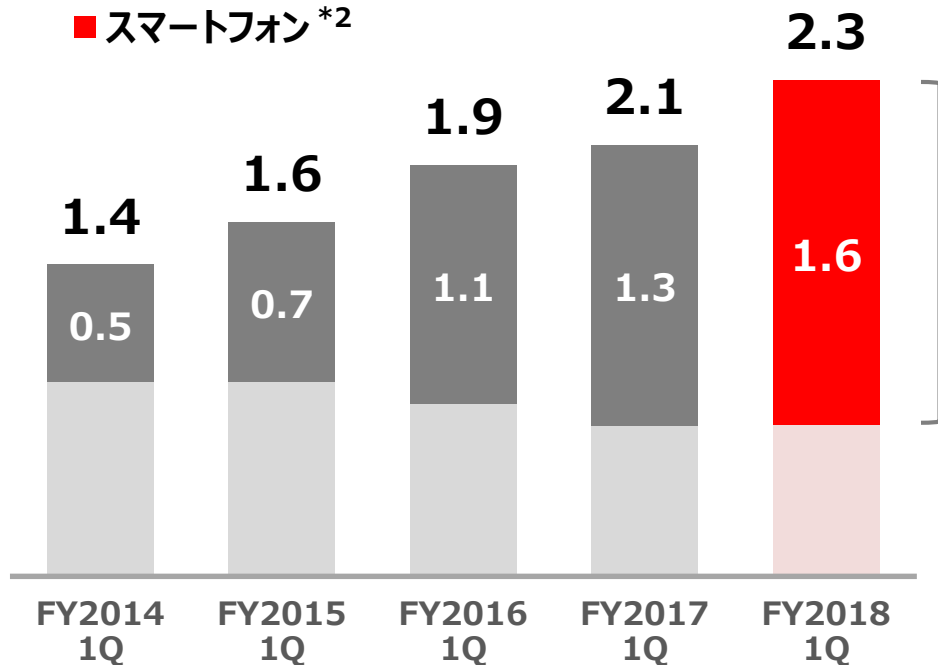
前年同月比

12%増

ログインユーザー利用時間

(十億時間)

- PC+その他 *1
- スマートフォン *2



スマートフォン経由
前年同四半期比

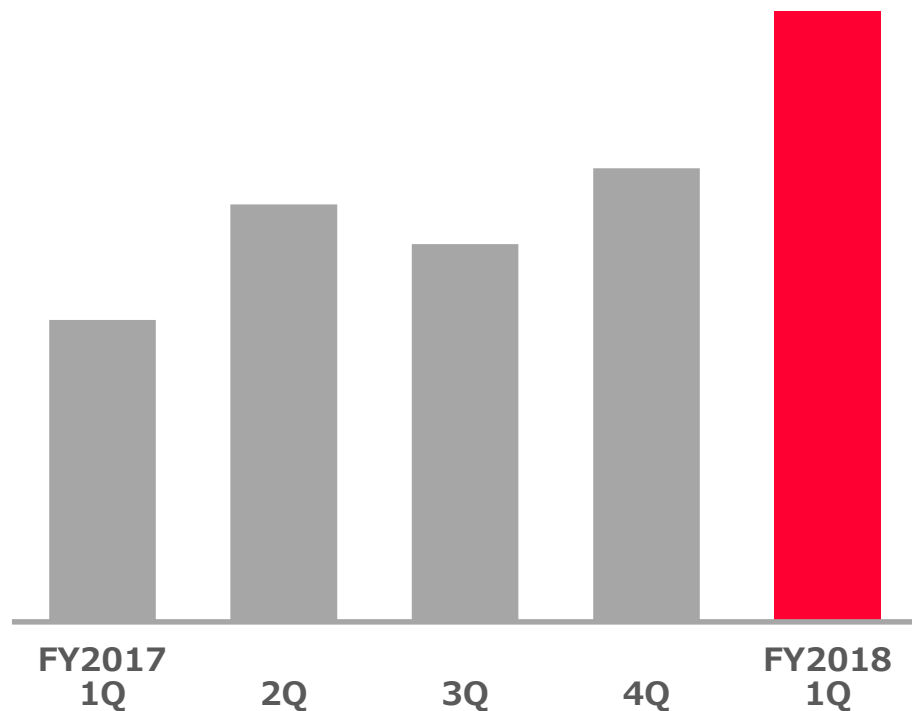
22%増

注: 各四半期において、Yahoo! JAPAN IDでログインした利用者による、利用時間の合計です。

14 *1 PC、タブレット、フィーチャーフォンからの閲覧を含んだ利用時間の合計です。

*2 アプリ、ブラウザからの閲覧を含んだ利用時間の合計です。

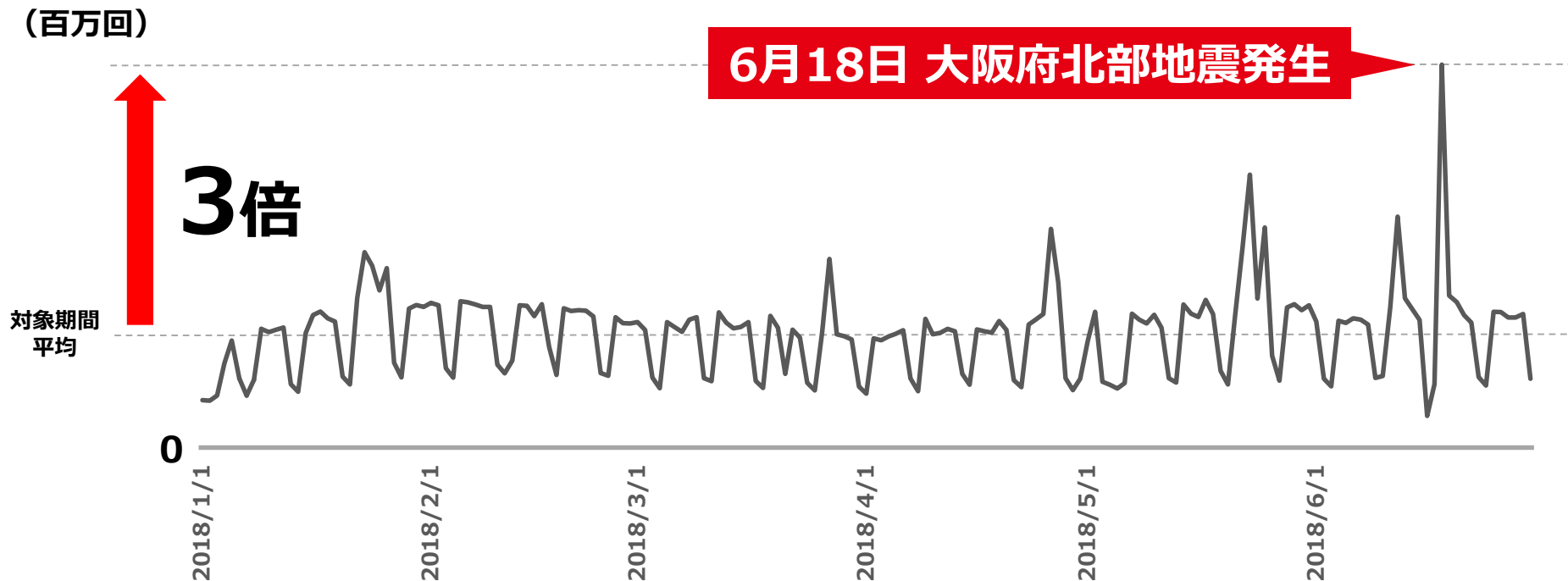
動画視聴時間



前年同四半期比
2倍

「Yahoo!ニュース」動画視聴回数

有事の際にも、映像ニュースをライブ配信で届けられる体制を整備



「Yahoo!知恵袋」のサービス改善にAIを活用

自社開発スーパーコンピュータ「kukai」を活用し、
大量のコンテンツを自動解析

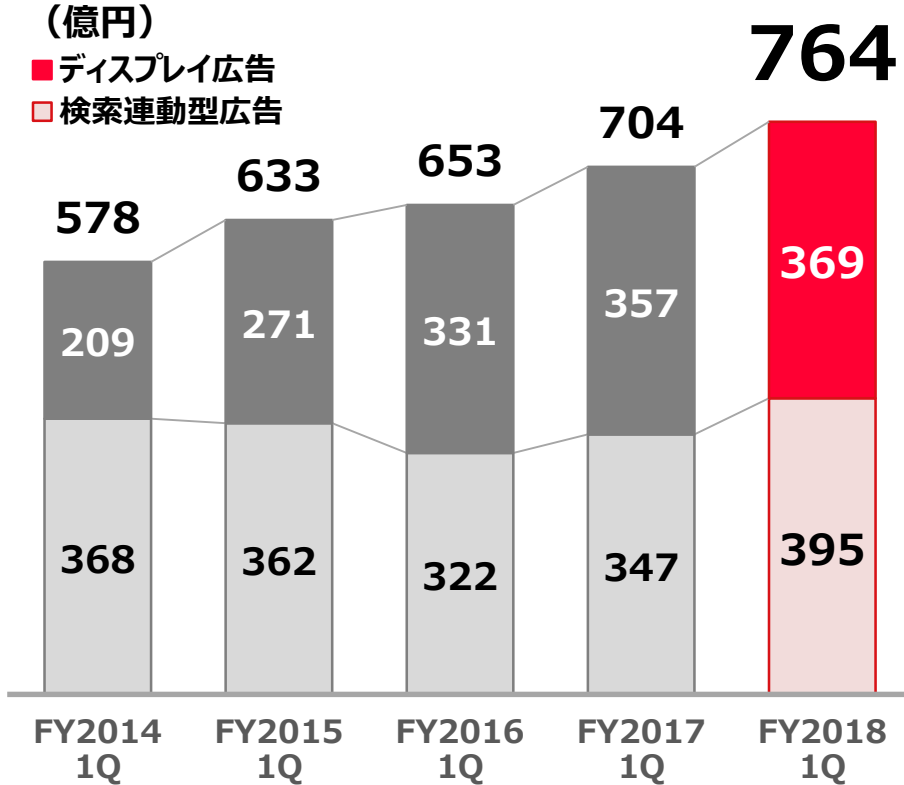


9ヶ月程度の
処理を
1日強で完了

画像：アフロ

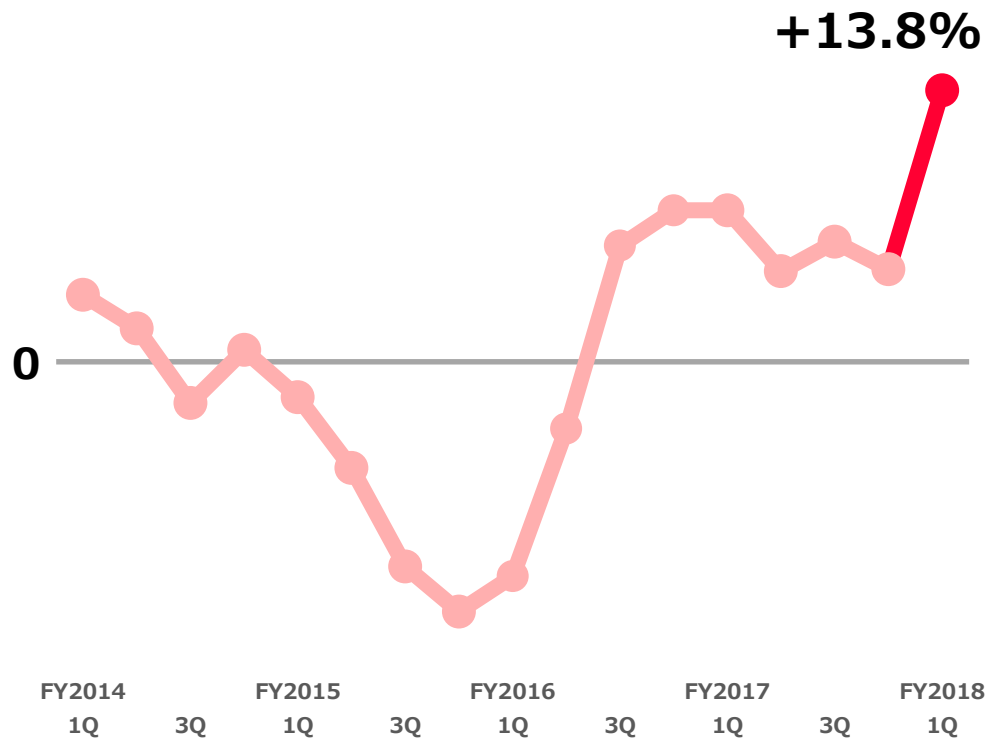
インターネット広告 売上収益No.1に向けて

広告関連売上収益



前年同四半期比
8%増

検索連動型広告売上収益 前年同四半期比 成長率



5年ぶりの
二桁成長

検索連動型広告売上収益の成長要因

複数の施策を実施した結果、1検索あたりの収益性が向上

～FY2017 4Q

FY2018 1Q～



広告の表示デザインを変更
(5月開始)

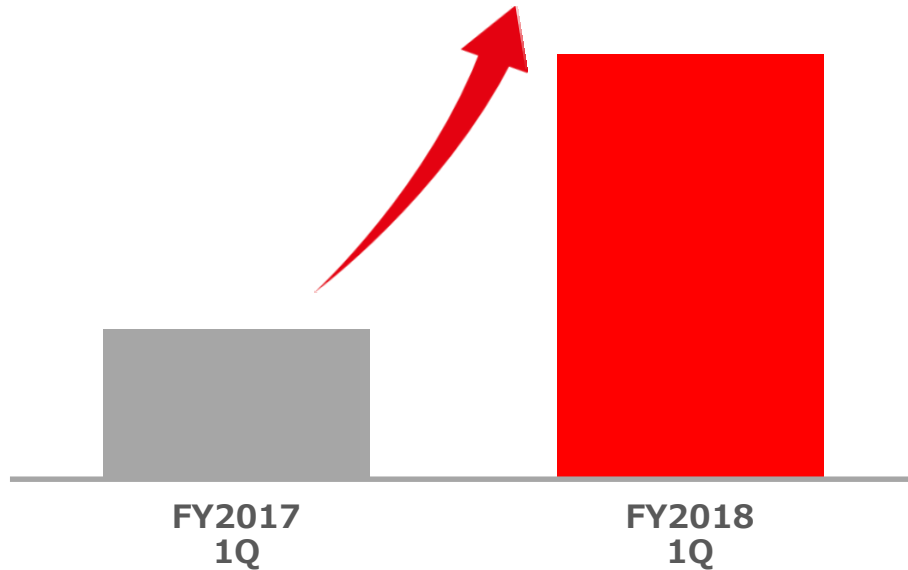
情報ごとの区切りを明確にし、
必要な情報を見つけやすくなるよう刷新

カテゴリ補足オプション機能を提供
(4月開始)

商品やサービスの特性に合う小見出し、
補足内容を追加可能に

画像：アフロ

スマートフォン動画広告売上収益



前年同四半期比
約3倍

Yahoo! JAPANトップアプリで動画広告をローンチ



7月21日から 提供開始

画像：アフロ

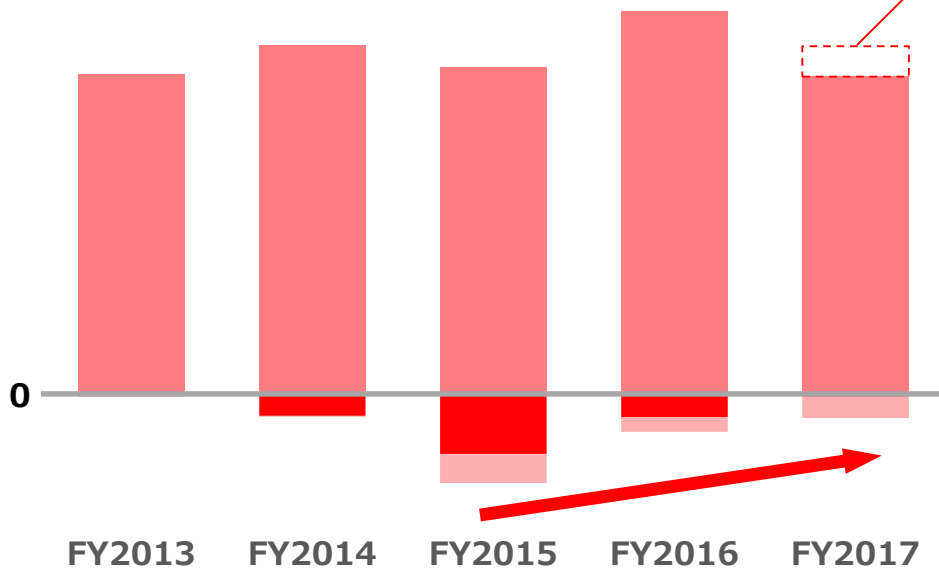
コマース事業

コマース事業の収益推移

- ヤフオク!、会員、O2O、決済金融等
- Yahoo!ショッピング(ショッピング広告とショッピング決済売上を含む)
- ワイジェイカード(株)

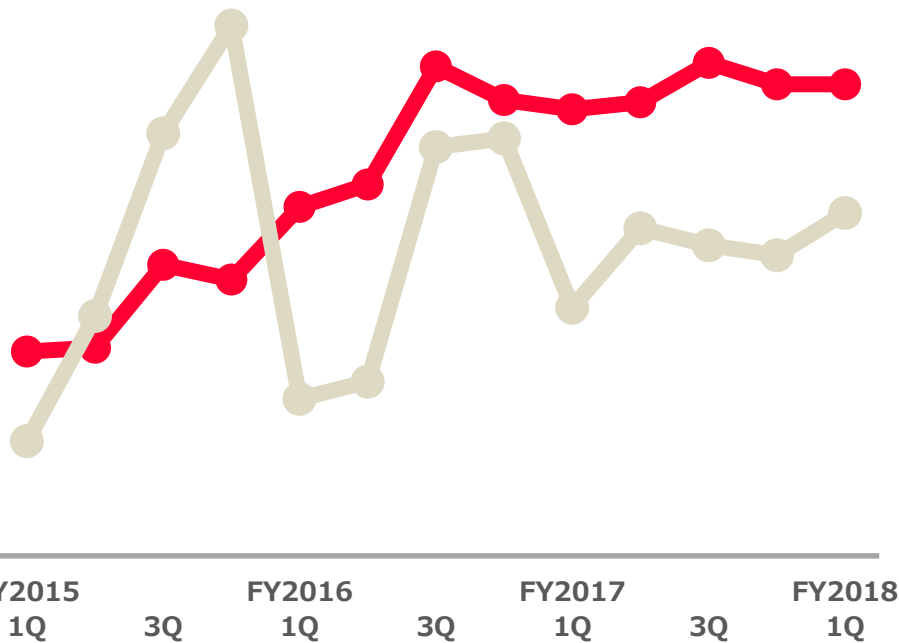
ヤフオク!施策分

Yahoo!ショッピングの 収益性が改善



「Yahoo!ショッピング」取扱高における ショッピング広告テイクレート*1およびポイント費用比率*2の推移

● ショッピング広告テイクレート
● ポイント費用比率



取扱高が拡大する中
広告テイクレートを維持

*1 ショッピング広告売上高÷「Yahoo!ショッピング」取扱高

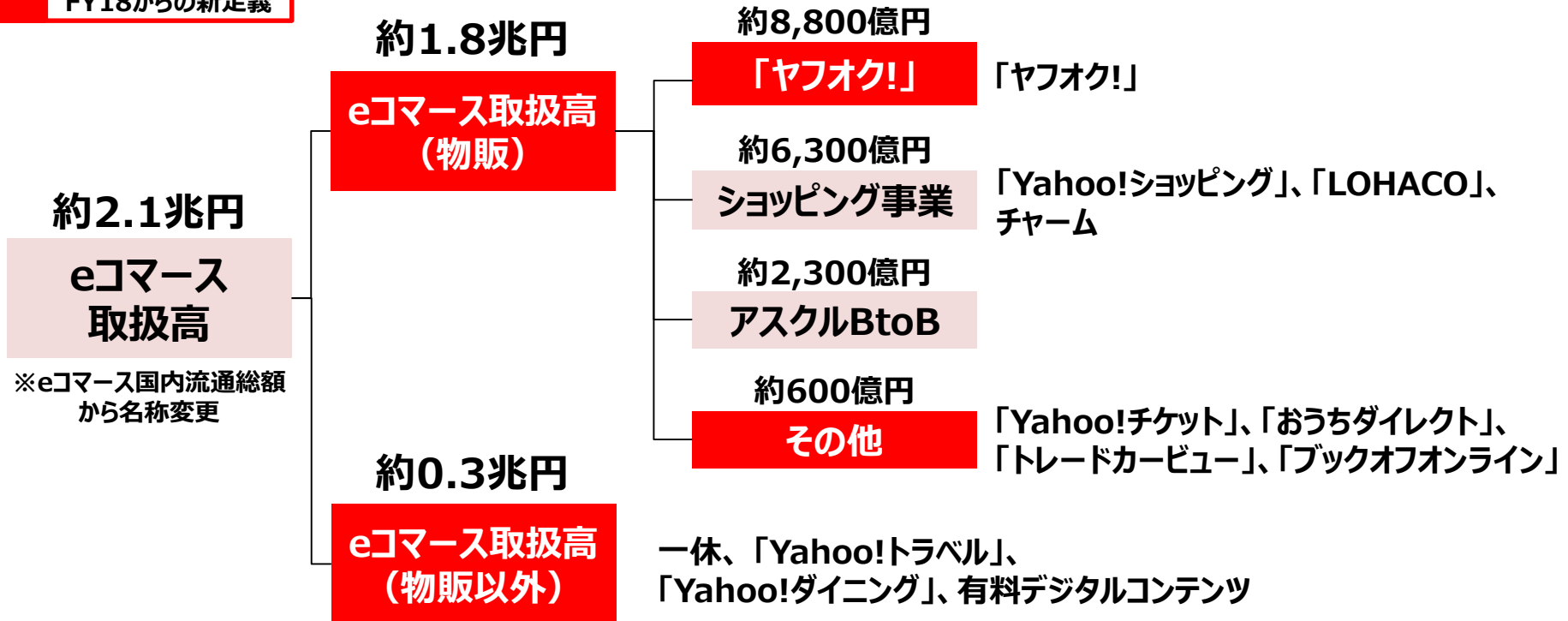
*2 「Yahoo!ショッピング」関連ポイント費用÷「Yahoo!ショッピング」取扱高

eコマース（物販） 取扱高No.1に向けて

FY18からのeコマース取扱高の定義

FY17から変更なし

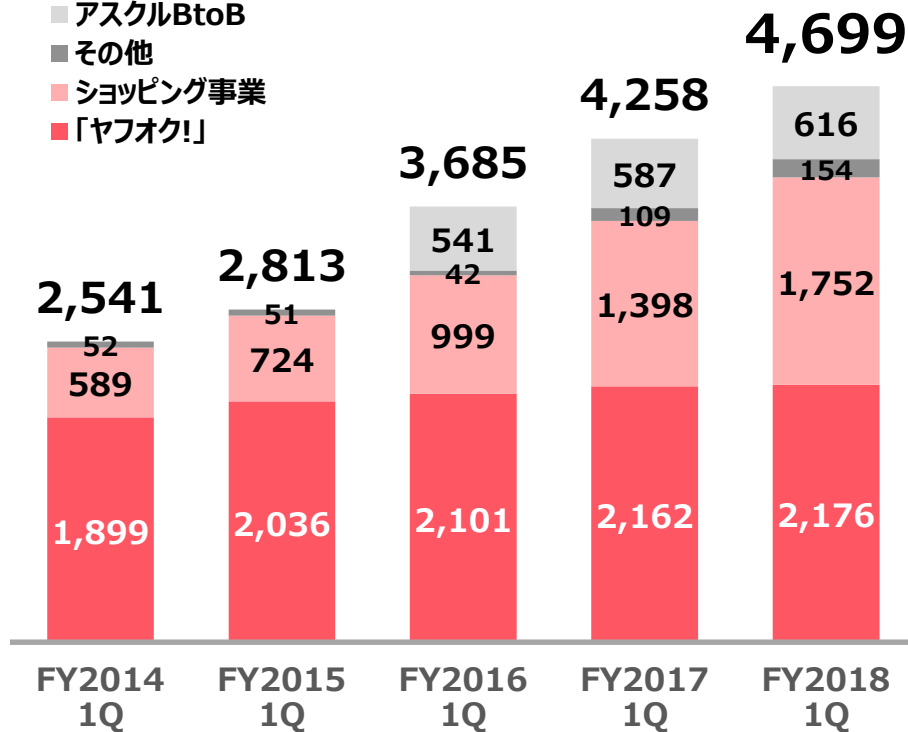
FY18からの新定義



eコマース取扱高（物販）

（億円）

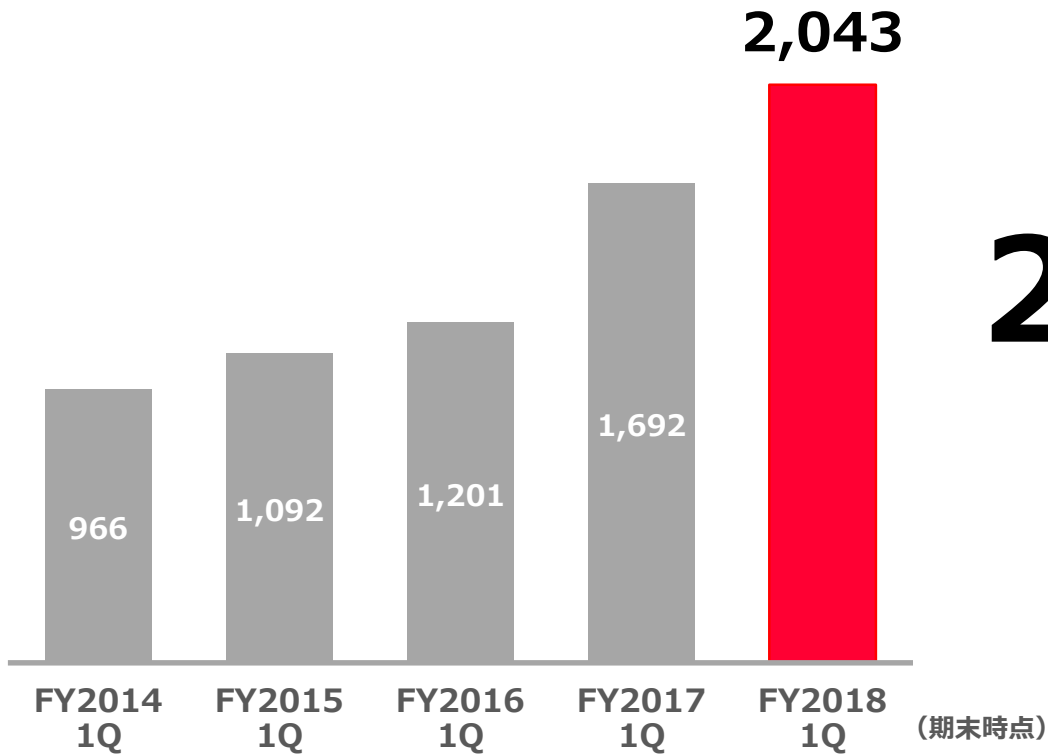
- アスクルBtoB
- その他
- ショッピング事業
- 「ヤフオク！」



前年同四半期比
10%増

「Yahoo!プレミアム」会員ID数

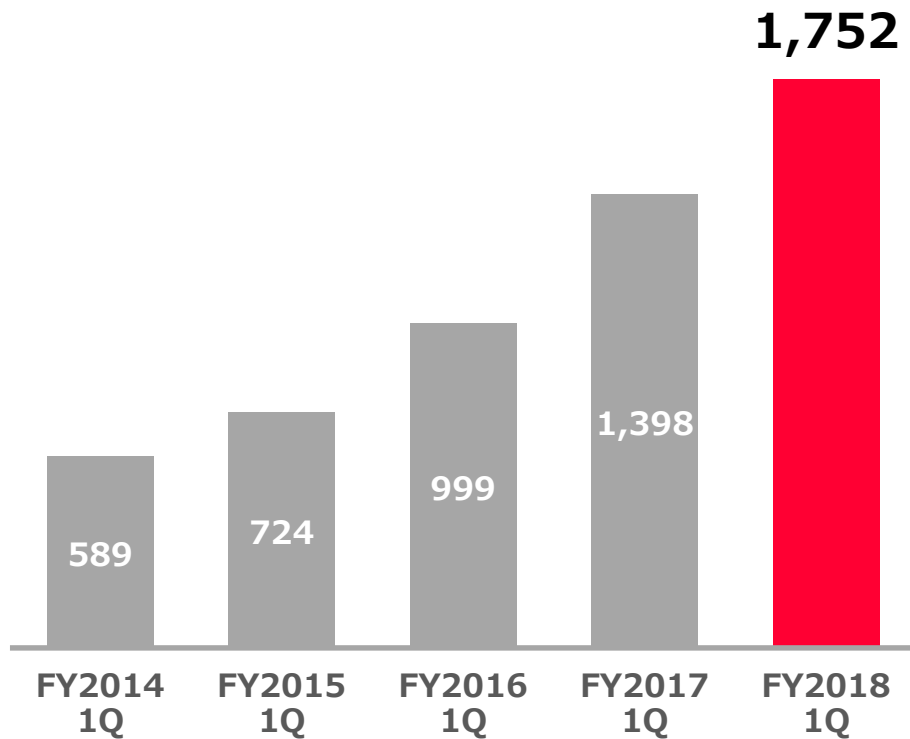
(万ID)



**2,000万ID
を突破**

ショッピング事業取扱高

(億円)

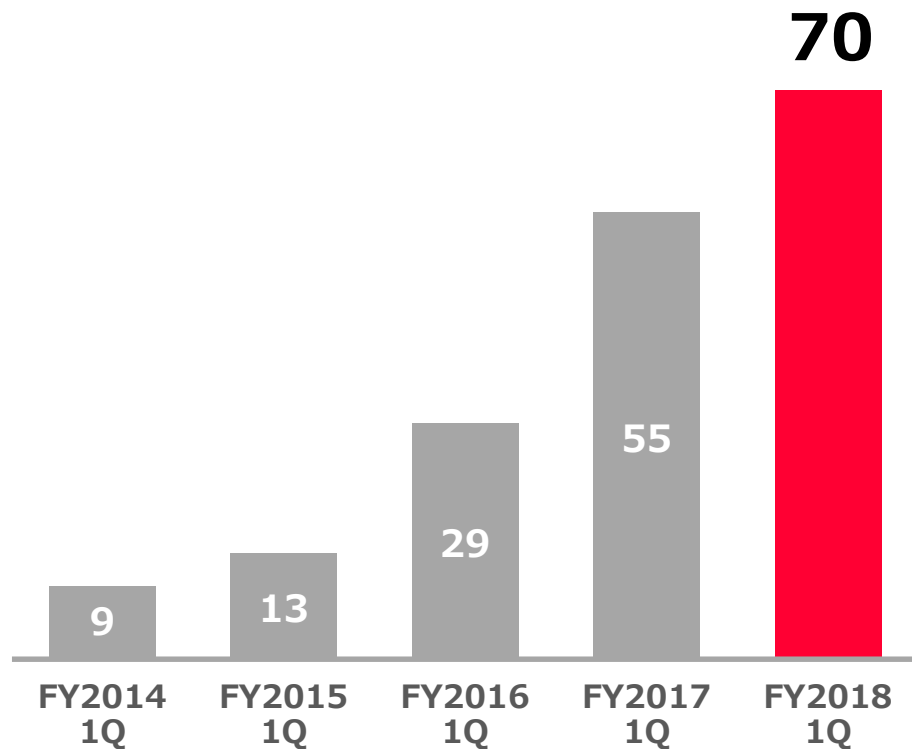


前年同四半期比
25%増

31 注: 「Yahoo!ショッピング」、「LOHACO」、(株)チャームの取扱高を含んでいます。「LOHACO」、(株)チャームの「Yahoo!ショッピング」経由での取扱高は、重複を除いています。
「LOHACO」は、アスクル(株)におけるLOHACO事業の取扱高(20日締め)です。

ショッピング広告売上収益

(億円)



前年同四半期比
28%増

注: ヤフー(株)単体におけるショッピング広告売上収益、パルコ(株)が「Yahoo!ショッピング」出店ストアに販売している「Yahoo!ショッピング」の広告商品「ストアマッチ」等の売上収益、「Yahoo!ショッピング」出店ストアが掲載している検索連動型広告、YDN等の売上収益の合計値です。
「Yahoo!ショッピング」出店ストアが掲載している検索連動型広告、YDN等の売上収益はメディア事業セグメントの広告売上収益に計上しています。

オークション関連取扱高

～FY17Q4
オークション関連取扱高
「ヤフオク!」
「Yahoo!チケット」関連
「おうちダイレクト」
「トレードカービュー」
「ブックオフオンライン」

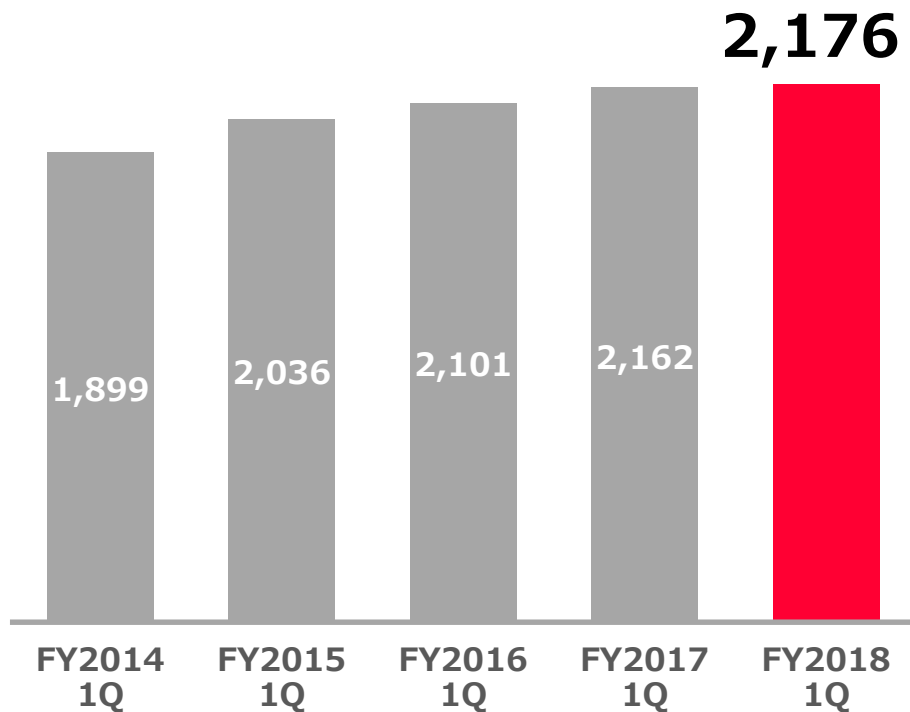
定義変更



FY18Q1～	
「ヤフオク!」取扱高	その他取扱高
「ヤフオク!」	
	「Yahoo!チケット」関連
	「おうちダイレクト」
	「トレードカービュー」
	「ブックオフオンライン」

「ヤフオク!」取扱高

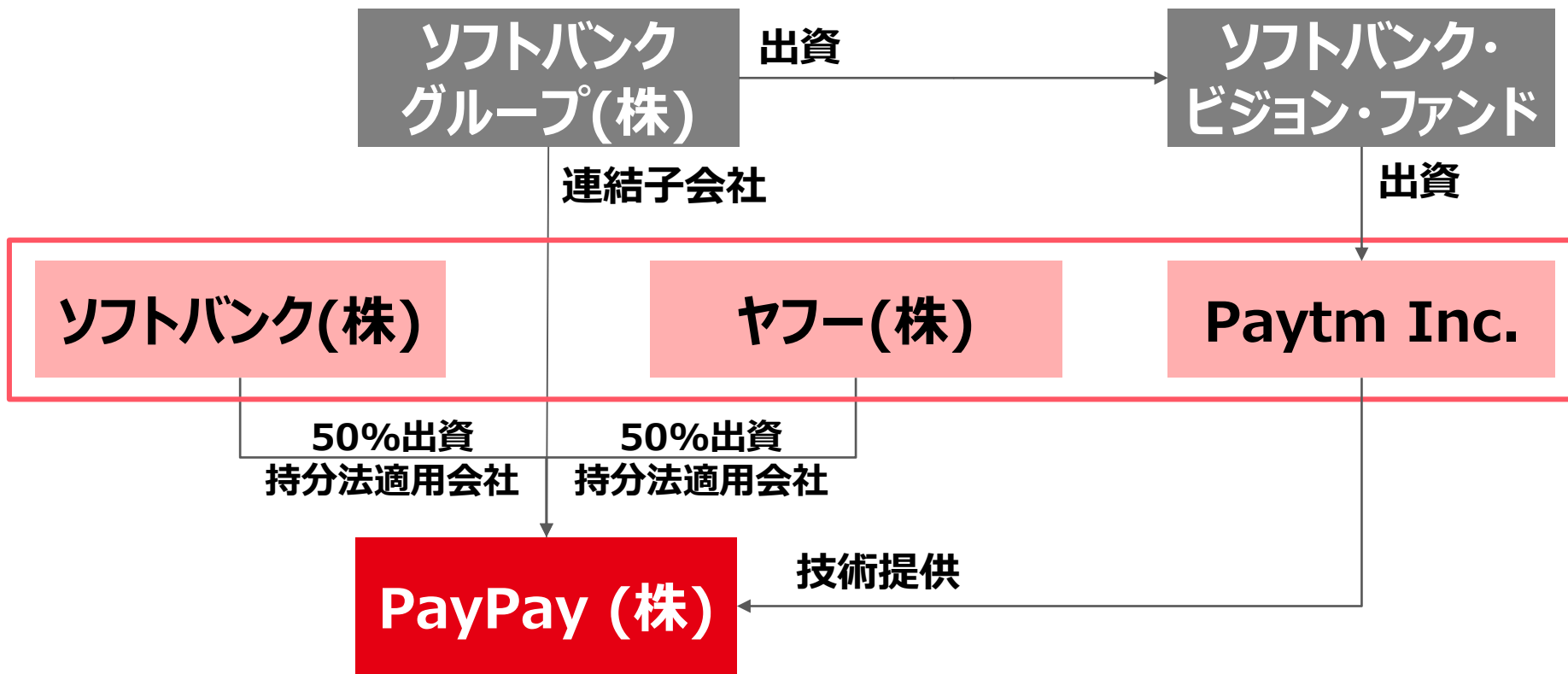
(億円)



前年同四半期比
0.6%増

モバイルペイメント 取扱高No.1に向けて

3社連合でスマートフォン決済サービスを提供



本事業における我々の強み

1 ソフトバンク(株)とのグループシナジーの活用
営業ノウハウ・リソースの投入
両社ユーザーの獲得

2 「Yahoo!ウォレット」の顧客基盤を活用
4,000万超の口座数

3 約100種類の多様なサービスとの連携
他事業とのデータ連携・マネタイズ⇒決済手数料3年間無料*

4 Paytmの最新テクノロジーの活用



Paytmの強み

インドのスマートフォン決済サービスにおけるリーディング企業

利用者数
3億人

加盟店数
800万店

出資
ソフトバンク・ビジョン・ファンド
アリババ・グループ
アント・ファイナンシャル

収益化までのプロセス

取扱高最大化

加盟店
獲得

利用者
拡大

収益化

既存事業の拡大

広告、eコマース、クレジットカードなど

新規事業の立ち上げ

O2O（飲食、小売、美容など）
金融（与信、証券、保険など）

2018年～



企業価値向上を目指して

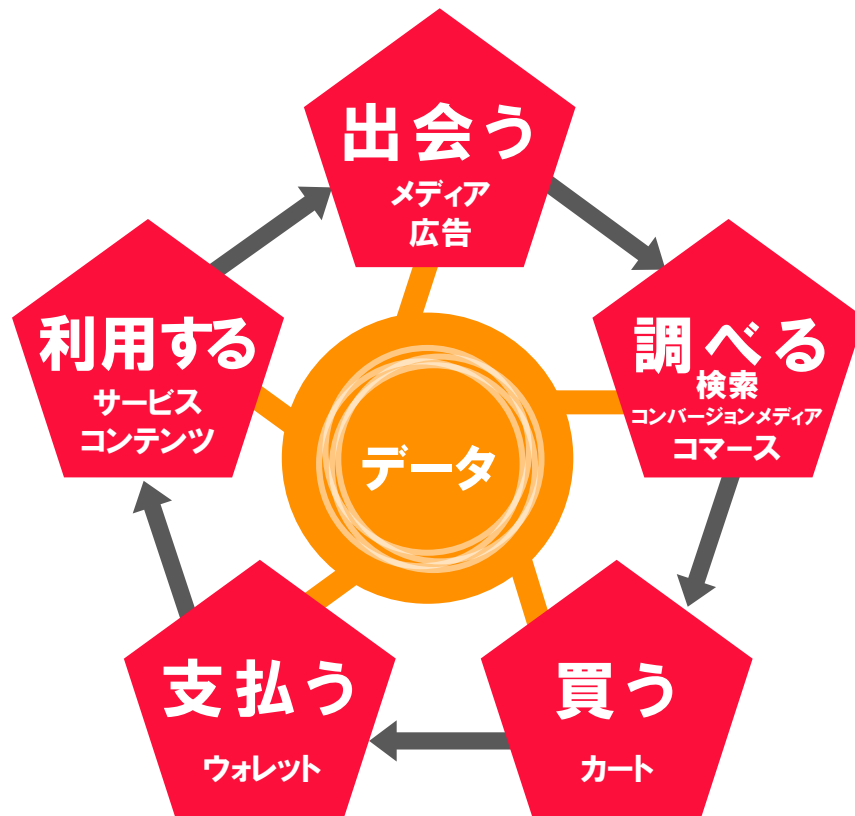
自社株買いの実施を発表

3つのNo.1実現に向けたソフトバンク(株)との連携強化

**ソフトバンクグループ(株)とAltabaのJVA解消による
経営の自由度の向上**

資本効率の向上および株主還元

他社との連携を強化



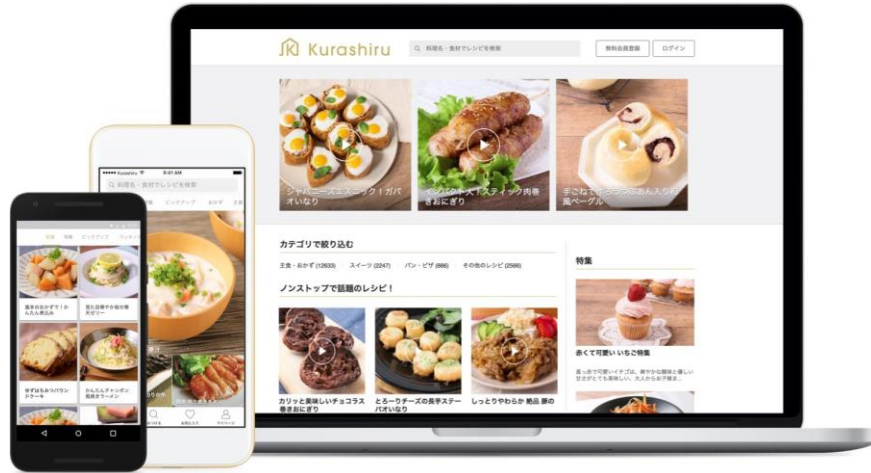
Retty(株)との戦略的パートナーシップ構築



お店選び・予約・決済の
課題解決を
共に進めていく

Retty

dely(株)との戦略的パートナーシップ構築



レシピ選び & 食材購入 No.1を共に目指す

 **Kurashiru**
日本最大級のレシピ動画サービス

ソフトバンク・ビジョン・ファンドとの連携



+



**ヤフーだから創れる
ヤフーにしか創れない
「未来」を創り出す**

補足資料

各セグメントの主な商品項目

メディア事業

広告	検索連動型広告「スponsoredサーチ」 ディスプレイ広告（「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク（YDN）」、「プレミアム広告」）
ビジネスサービス	CRM関連、メディア関連等
パーソナルサービス	動画関連等

コマース事業

広告	ディスプレイ広告（「プレミアム広告」）
ビジネスサービス	「ASKUL」、アフィリエイト関連、予約関連、「ヤフオク!」法人向けシステム利用料、決済関連、 銀行業関連、クレジットカード関連等、「Yahoo!不動産」、不動産関連
パーソナルサービス	「LOHACO」、「Yahoo!プレミアム」、「ヤフオク!」個人向けシステム利用料、クレジットカード関連、 通信キャリア関連、ペット用品関連、銀行業関連、電子書籍関連、FX関連等、決済関連
その他	銀行業関連

その他

広告	ディスプレイ広告（「プレミアム広告」）
ビジネスサービス	データセンター関連、公金決済関連等
パーソナルサービス	公金決済関連、「Yahoo!メール」、「Yahoo!アドレスブック」等

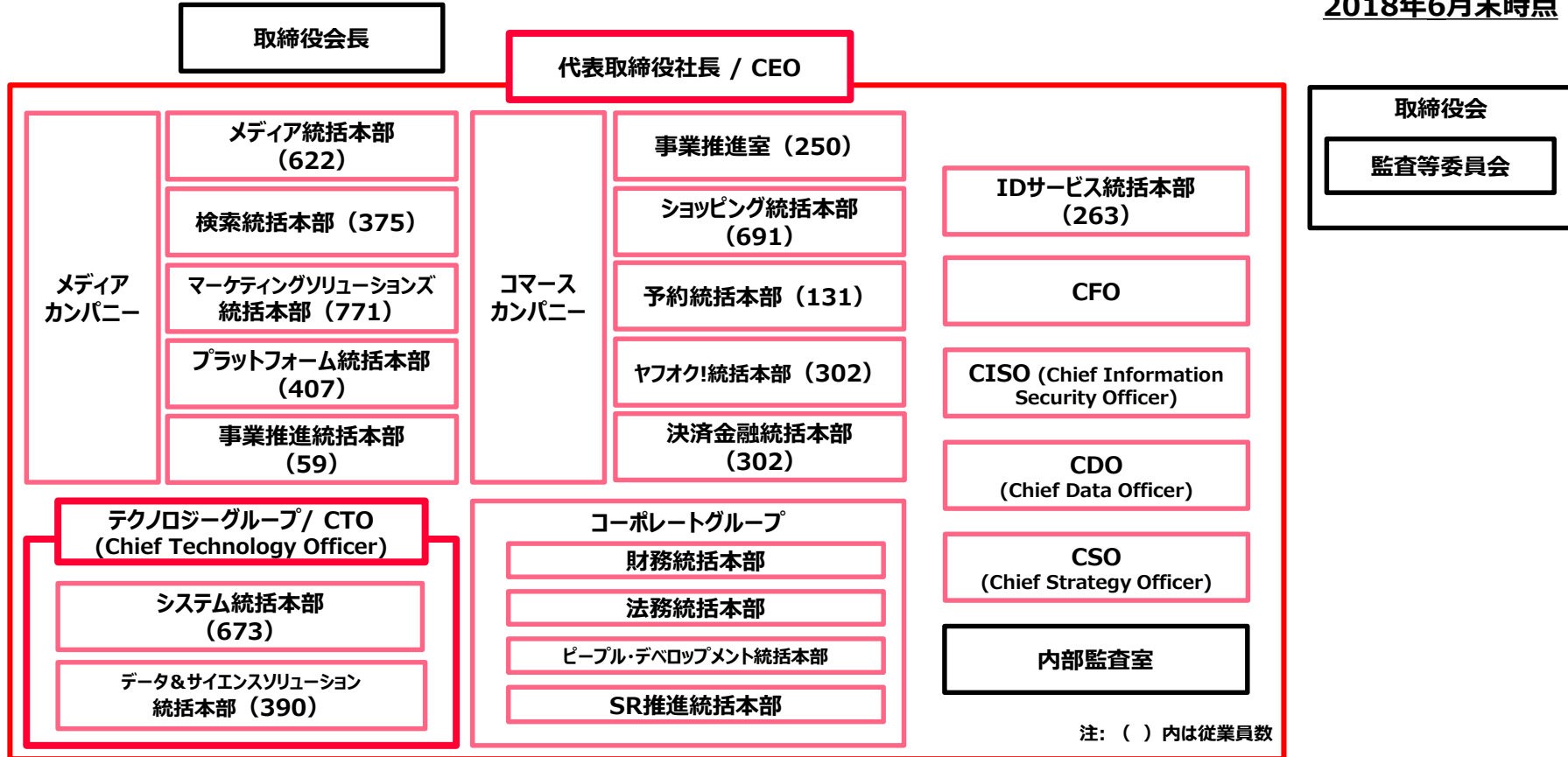
主な広告商品

広告商品		主なフォーマット	課金方法	掲載場所	広告主タイプ	
検索連動型 広告	「スポンサードサーチ®」		テキスト	クリック課金 (運用型) *2	検索結果ページ	大手・中小 企業
ディスプレイ 広告	YDN等	「Yahoo!ディスプレイ アドネットワーク (YDN)」 *1	テキスト バナー	視聴課金 (運用型) *2	トップページ *1	
		「Yahoo!プレミアムDSP」	バナー			インプレッション課金 (運用型) *2
		「プレミアム広告」	「ブランドパネル」 「プライムディスプレイ」等	リッチ (ビデオ含) バナー	インプレッション課金 (予約型) *3	大手企業
	バナー テキスト広告等		テキスト バナー	期間保証型課金等 (予約型) *3	「Yahoo! ショッピング」	
	「PRオプション」			コンバージョン課金		

- *1 タイムライン型のページに配信される「インフィード広告」を含んでいます。
 *2 広告出稿を最適化するため自動もしくは手動で即時的に運用しています。
 *3 事前に広告枠を指定し掲載を予約するものです。

組織図 (単体ベース)

2018年6月末時点



主な連結子会社および持分法適用会社

2018年6月末時点

● 主な連結子会社

アスクル(株)

(株)一休

(株)カービュー

(株)クラシファイド

(株)ジャパンネット銀行

ダイナテック(株)

パスレボ(株)

ワイジェイFX(株)

YJキャピタル(株)

ワイズ・スポーツ(株)

(株)イーブックイニシアティブジャパン

(株)エコ配

(株)GYAO

シナジーマーケティング(株)

Zコーポレーション(株)

(株)ネットラスト

バリューコマース(株)

ワイジェイカード(株)

ワイズ・インシュアランス(株)

● 主な持分法適用会社

アストマックス投信投資顧問(株)

ソニー不動産(株)

ブックオフコーポレーション(株)

CRITEO(株)

BuzzFeed Japan(株)

YAHOO!
JAPAN